



平岡 清樹 議員

元気な伊予市へ、戦略的に経済活性化を

問

周辺の市町に取り残されている本市。

行政・民間・大学のコンペを結束させた伊予市地域経済活性化戦略チームを作り、新時代に向けた新しい市民の参画と協働を提案する。

答

武智市長

地域経済活性化については、客観的な現状認識と新たな視点からの活性化が求められているところである。

教育を含めた多目的イベント会場へと変革させ、併せて名称変更も含め、活性化させよう。

答

久保産業建設部長

多目的広場をオートキャンプ場に変更することについては、隣接している花の森ホテル等に対し、騒音等の環境問題がないか、管理運営等について影響がないか、指定管理者と今後協議したい。

また、同広場は県の地域防災計画でヘリコプターの臨時離着陸場として位置付けられ、毎年訓練も実施しており、支障がないか調査の必要がある。

放置された栗の里公園を若返らせる改善案

問

ゴールデンウィークに閑散としている栗の里公園。自然を楽しみ、情操

ジが既に定着しているの
で、今後一層、知名度を高めていきたい。

今後、公園内の各施設が連携したイベントや運営を行い、集客力の向上を図りたい。



栗の里公園の多目的広場

市民の自慢になる図書館・文化ホールの建設

問

「知識・知恵・知能」本市の「知」を象徴する図書館の建設は、箱物よりも最新技術と最高の行政サービスの投入計画を。また、隣接する保育園への日照権問題はないか。

答

長尾総務部長

既に策定している建設基本計画では、誰もが行きたくなくなり、ゆったり落ちつくことのできる滞在型の気軽に利用できる図書館。また必要な情報・資料が確実に提供できる質の高いサービスの向上、心豊かな成長を促すため、子どもが利用しやすい環境の整備などの項目を定めている。

今後は、この方針に基づき、設計業務を進めるが、ソフト面も設計段階でワークショップ等を開催し、市民が望む使い勝手のよい仕組みづくりを考えたい。

日照権は、北側に隣接する土地に対する日照の確保が目的である。

今回の計画配置案では、ぐんちゅう保育所が対象で、現在の基本計画では、3階建ての直方体の形状を想定しており、配慮が必要となる。